



2026年3月

JR東日本 運賃改定

～ 国土交通省から認可 ～



JR東日本は、2024年12月6日に国土交通大臣へ鉄道事業の旅客運賃の上限変更認可申請を行い、2025年8月1日付で申請通りに認可されました。これにより、来年3月に運賃改定が実施される予定です。

運賃改定の主な目的

- ・安全性の確保と老朽設備の更新
- ・運営コスト・人件費の増加への対応
- ・経営の持続可能性の確保
- ・運賃体系の見直しによる公平性や利便性の向上
- ・地域間のバランス確保や地方路線の維持補助

主な運賃体系の変更点

- ・全区間での運賃値上げ
- ・「電車特定区間・山手線内」の区分を廃止し「幹線」に統合
- ・オフピーク定期券の適用範囲拡大
- ・オフピークポイントサービスの廃止
- ・山手線内均一定期券の廃止 など

私たち鉄道業は、利用者に安全・安定輸送と質の高いサービスを提供することで、対価として運賃をいただいています。しかしながら、現在のJR東日本は、「モビリティ部門(鉄道)」よりも「生活ソリューション部門(非鉄道分野)」に重点を置く姿勢が強まり、安全やサービスの質が後回しにされている事象が各地で相次いでいます。今回の運賃改定により、利用者や世間のJR東日本への視線は、これまで以上に厳しくなることが予想されます。運賃を値上げするのであれば、その分の投資は社員と利用者の双方にしっかりと還元されるべきです。安全・サービス・信頼を支えるのは現場で働く私たちであり、また鉄道を支える利用者の存在です。

現場と利用者に寄り添う公共交通を実現させるために
東京支部は声を上げ続ける！